

留 学 報 告 書

記入日:2017年4月2日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部国際日本学科
留学先国	アメリカ
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: エベレットコミュニティカレッジ 現地言語: Everett Community College
留学期間	2016年9月～2017年3月
留学した時の学年	3年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	3年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	Global Studies 専攻 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2017年3月27日
明治大学卒業予定年	2018年3月

留学費用項目	現地通貨 (ドル)	円	備考
授業料		750,000 円	選択する授業によって教科書代が異なったり、施設利用費がかかってくるので多少前後すると思われる。
宿舍費		700,000 円	
食費		350,000 円	外食は日本と比べてやや高めな印象
渡航旅費		190,000 円	日本の会社で手配
その他		150,000 円	娯楽費用など
合計		2,140,000 円	長期休暇に旅行をしたので、総計としては約230万ほど。高額授業料や宿泊費は為替レートの影響を大きく受けるので、留学が決まった生徒はあらかじめ円高の時期に円をドルに換えておくと良いと思う。

滞在形態関連	
1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート, 大学の宿舎など)	
	学生寮
2)部屋の形態	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個室 OR <input type="checkbox"/> 相部屋(同居人数)
3)住居を探した方法:	
	留学先大学のホームページ
4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
	新築の為快適で、Wifiの電波やセキュリティ面も全く問題なし。大学のすぐ隣に位置しており、通学にも便利である。近隣のスーパーマーケットまでは徒歩15分ほど。費用はホームステイやアパートメントに比べて高めだが、個室で勉強にも集中でき個人的には寮を選択して良かったと感じている。
現地情報	
1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用する機会が無かった <input type="checkbox"/> 利用した:
2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。	
	留学生担当のInternational Officeがサポートしてくれる。
3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?	
	主に大学からの情報提供。大学近隣で事件(盗難等)が起きた際は、セキュリティセンターから生徒全員にメールが届くようになっている。
4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。 (例:寮のインターネット接続が不安定で週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)	
	寮は新築で全く問題なし。学校内においては、ごくまれに電波が弱い時があるが、基本的には問題なく使う事が出来る。
5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)	
	デビットカードとクレジットカードを使用。現地で口座の開設をしていない。
6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。	
	特になし
7)授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)	
	秋学期分(9月から12月)は渡航後のオリエンテーション期間中の履修登録時に支払い。冬学期(1月から3月)は履修登録期間が秋学期中(11月上旬)にあり、登録から5日以内に入金をしないと、選択した授業が取り消されてしまうので、注意が必要である。
卒業後の進路について	
留学を通して生じた、今後の進路についての考えについて教えてください。	
	学生らとコミュニケーションを図る上では一緒に食事をしたり、日本料理を教えたりなど、「食」が大きな役割を果たす事を感じたので、食に関係する商社やメーカーを中心に就職を考えている。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
25 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 単位(未定) <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。	

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Academic Listening and Speaking	
科目設置学部・研究科	Academic English Program
履修期間	2016 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 80 分が 2 回
担当教授	Serven, Lijiao
授業内容	英語の短い講義(10分未満)を聞いて、講義の内容に関するディスカッションやプレゼンを行う。
試験・課題など	リスニングの小テスト(2週に1回)、プレゼン、ディスカッション
感想を自由記入	国際日本学部必修科目 English I の speaking と listening が合わさったような内容。ただレベルは高め。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Intro to College Reading and Writing	
科目設置学部・研究科	Academic English Program
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	チュートリアル(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Serven, Lijiao
授業内容	英語による essay の書き方
試験・課題など	課題読書(授業外で読む)に関するクイズ、essay
感想を自由記入	国際日本学部必修科目の Research Paper Writing のような内容で、レベルがやや高めに設定されている印象。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Reading and Thinking for Academics	
科目設置学部・研究科	Developmental Education
履修期間	2016 秋学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義およびグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)

授業時間数	1週間に50分が4回
担当教授	Schwab, Kerri
授業内容	Readingを中心とした英語学習の効果、効率を高めていく為の手法を学ぶ
試験・課題など	課題読書(2冊)、単語クイズ、自己評価 essay、課題読書に関するプレゼン、グループワークなど
感想を自由記入	受講生の割合としてはネイティブの学生と留学生が半数ずつの印象。担当教授は留学生の英語指導も担当しており、質問等にも真摯に対応してくれる。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
College Success	
科目設置学部・研究科	College Success
履修期間	2016 冬学期
単位数	2
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式とグループワーク(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に50分が2回
担当教授	Franz, Debe
授業内容	Community Collegeの学生として身に付けておくべき能力(ストレス管理、時間管理など)と、知っておくべき学校制度(奨学金など)を学ぶ
試験・課題など	毎回ごとに提出する short essay(250字程度)と授業内でのグループワーク
感想を自由記入	正規生として Everett Community Collegeを卒業する生徒には必修授業だが、留学プログラムの学生には関係ない為、必要はないように思われる。現地の履修登録アドバイザーは、どの生徒が留学プログラム参加者かを把握していないので注意。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
English Composition I	
科目設置学部・研究科	English
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	25人程度の小規模クラスでの講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に60分が4回
担当教授	Arntson, Steven
授業内容	Academic essay(argumentative, narrativeなど)の書き方、Academic essayにふさわしい文献の探し方について
試験・課題など	Essay およびグループワーク
感想を自由記入	Academic essayの書き方を中心に、英語の表現方法や語彙力などを学ぶので、総合的な英語力を上げたい学生にはおすすすめ。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to Global Studies	
科目設置学部・研究科	Global Studies
履修期間	2016 冬学期
単位数	5
本学での単位認定状況	(未定)単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)

授業形態	講義形式(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 60 分が 4 回
担当教授	Dinter, Elke
授業内容	現代の国際社会が抱える問題(環境問題、貧困問題、民族問題など)について、歴史的背景を通して考えていく。
試験・課題など	単語クイズ、講義内容に関する理解度テスト、グループワークなど
感想を自由記入	国際日本学部の学生にはピッタリな授業。留学生受講者も他の授業に比べて多く、諸問題に対して、各国の生徒はどのように考えているのかなど、物事を複数の観点から考える力が身につくと思う。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備, 試験勉強, 留学中, 留学後, 特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例: 語学試験の勉強, 選考, 出願, 留学中の中間試験, 期末試験, その他イベント等

2015年 1月～3月	TOEFL 対策
4月～7月	TOEFL 対策
8月～9月	TOEFL 受験
10月～12月	出願および選考
2016年 1月～3月	学生寮の申し込み
4月～7月	留学許可書の受け取り、ビザの申請
8月～9月	渡航前の最終確認
10月～12月	秋学授業(試験は12月上旬)
2017年 1月～3月	冬学期授業(試験は3月下旬)
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	所属ゼミの研究テーマである、「多文化共生社会」についての問題意識を高め、帰国後の研究や卒業後の進路に生かしていきたいと考えたからです。在日外国人が多い街で育った為に多文化共生に興味を持ちましたが、海外に住んだ経験は一度もなく、実際に日本で暮らしている外国人の方々が感じているマイノリティとしての生活はどのようなものなのか、自分が海外で実体験をする事によって、理解を深めたいと思いました。また、世界で最も多文化共生が進んでいるアメリカを自分の目で見ることが、日本の多文化共生を考えていく上で重要になると考え、留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	Speaking 力の向上です。日本の英語教育は、実用的な英語力に結び付きにくいと言われていますが、留学を通してその欠点をより実感しました。ネイティブの学生は当然ですが、他の留学生と比べても、日本人の Speaking 力は明らかに不足している印象を受けました。Office Hour をはじめとし、実際に英語を話す機会を少しでも多く作るべきだと思います。また、海外の学生が日本に興味を持つきっかけとしては、漫画やアニメなどのポップカルチャーが多いと感じたので、代表的な作品(ジブリ)等は見ておくべきだと思います。
この留学先を選んだ理由	留学生の比率が、他の留学先に比べて少ない事が一番の理由です。その為、学内における多文化共生化という点ではまだ不十分な点が多く、留学生の立場として意見を述べていく事で、国際化に向けたより良い環境作りに協力できるのではないかと思います。多文化共生社会としてのアメリカという国、これからそれを目指していくカレッジという2つの環境があり、両者とも日本の多文化共生化を考えていく上で有益な経験になると考え、Everett Community College を選びました。
大学・学生の雰囲気	都市部からは少し離れた静かな町に位置しており、天気の良い日はキャンパスから森永乳牛のコーヒーでお馴染みのレーニア山が見えたりと、自然豊かで、勉強するのに適している雰囲気があるのではないかと思います。4 年生大学への編入を考えている生徒が多く、各自が目標に向かって切磋琢磨しながら、楽しく学校生活を送っていると感じました。ただ、現地学生と留学生との間には若干の壁があり、多文化共生の観点ではまだ改善の余地が多くあると思います。
寮の雰囲気	管理人さんが住み込みしており、その方がいない時でも入口および各階にはアシスタントの学生もいるため、困った事があればいつでも相談する事が出来ます。入居している学生の割合としては現地学生と留学生が半数ずつ程度だと思いましたが、現地学生はキッチン等の共有スペースをあまり利用(料理をしない?)していませんでした。その為、留学生同士ではボードゲームをしたり、共有のテレビで映画を見たりと交流の機会が多くありましたが、寮に住んでいる現地学生とは、廊下で顔を合わせる程度の関係が多く、その点は少し残念に思いました。
交友関係	普段の授業内におけるディスカッション等を通して出来る友達もいますが、Everett Community College には複数のクラブ(大学というサークル)があるので、自分の興味のあるクラブに所属する事をおすすめします。クラブでイベントの企画、実施を行ったりする事でより深い関係を築く事が出来ますし、そこで出来た友人を通して学外のパーティー等に招待してもらえる機会もあると思うので、勉強は忙しいですが、合間をぬってこういった活動に積極的に参加すべきだと思います。また大学がやや郊外に位置しているため、車を持っている友人がいると行動範囲が広がり、さらに充実した留学生活を送れると思います。
困ったこと、大変だったこと	初めて会う学生とどのように距離を縮めいくかという部分では、最初の頃にかなり苦労しました。会話が中々続かない事もしばしばありましたが、場数を踏んでいく事で、相手がどのような話題に興味を持ってくれるのかが分かるようになってきて、留学後期はより多く学生と交流を図る事が出来たのではないかなと感じています。私の印象としては、多くの学生が日本のイメージとしてアニメ、ゲーム等を挙げていたので、国際日本学部のポップカルチャー研究領域の授業はかなり役に立つと思います。また「食」の話題も多く、学生が興味を持っているため、一緒に料理をしたり、外食したりするのも交流を深める良いきっかけになると思います。
学習内容・勉強について	まず最も注意してほしいのが履修登録です。授業開始前のオリエンテーション期間に登録期間があり、アドバイザーが簡単な面談をしてくれますが、中には Prerequisite(ある授業をとる為に必要な前提条件)を理解していないアドバイザーもいます。その為、とりたて授業を伝えても、「あなたは条件を満たしていないから履修できないよ」などと言われる場合がありますが、必ず自分でシラバスを確認し、間違いがあった場合にはアドバイザーにすぐに伝える必要があります。私はアドバイザーの言う事だから正しいのだろうという思い込み、確認を怠ってしまった為、前期の間は希望していない授業をとる事になってしまいました。貴重な留学生活の中心となる部分ですので、今後このプログラムに参加する学生には必ず頭に入れておいてください。専攻していた Global Studies の授業は、主に講義と講義内容に関するディスカッション

	で成り立っています。教員が話している最中でも、多くの生徒が挙手をして自分の意見を述べたりと、日本で育った学生にとってはやや圧倒される場面もあるとは思いますが、自分の全力を尽くせば、周りの生徒や教員もその努力を認めてくれる環境だと感じ、予習、復習を欠かさず、毎日コツコツと勉強を続けました。ほとんどの授業が20~30人の小規模クラスであるため、発言の機会も多く、英語力、思考力ともに向上出来ると思います。
課題・試験について	総合的には課題は多めであったと感じていますが、同じ授業でも複数の教員によって開講されているものが多く、教員が異なると課題の量、評価方法、基準等が違ってくるため、一概には言えません。中でも English Composition I という授業(おそらくプログラム参加者全員がとる事になる)は、担当教員が10人以上おり、授業内容も各教授の裁量次第です。その為、履修登録の際は他の学生との情報交換を積極的に行い、自分の要望に沿った授業を選択してほしいと思います。
大学外の活動について	学外でのイベント等には、主に学内で出来た友人を通して参加していました。最も印象に残っているのは Thanksgiving Day で、アメリカ人家族のご自宅に招待していただき、現地の方に交じってその文化を実際に体験した事です(巨大な七面鳥の丸焼きを食べる等)。また、私は参加していませんが、友人の中には Bridge という留学生のサポートや、同州内の複数の学校間での交流イベント等を行っている団体に所属し、ハイキングやスポーツ観戦などに参加している学生も多かったです。
留学を志す人へ	人が成長していく為には Comfort Zone(居心地の良い場所)から出ていく事が、最も大切であると私は考えています。常に成長していく為には、新しい環境に身を置き続ける事が必要です。留学中においては、何事にも積極的に取り組んでいく姿勢がそれを可能にしてくれるのではないのでしょうか。たとえ興味のない事でも、実際に体験する事で新たな出会いや発見が生まれる可能性もあります。留学中は、時間が経つのがあっという間に感じます。日本に帰国した後に、やり残したと思う事がないような留学生在活が送れるよう、自分の世界を広げてください。

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	授業	授業	授業	授業	課題読書	予習	課題
	授業	授業	授業	授業	予習	予習	課題
午後	授業	クラブ活動	授業	クラブ活動	友人らとシアトルへ	課題	課題読書
	予習、復習	予習、復習	予習、復習	復習	シアトル観光	課題	近隣をランニング
夕刻	課題	課題	課題	課題	シアトルで夕食	寮で友人らと交流(ボードゲーム、映画鑑賞など)	課題読書
夜	寮の共有スペースで友人らと交流(ボードゲーム、映画鑑賞など)	毎週の小テストに向けた勉強	寮の共有スペースで友人らと交流(ボードゲーム、映画鑑賞など)	寮の友人らと週末の予定について話し合いながら夕食	課題読書	課題読書	翌日に備え早めに就寝